

平成30年度 第8回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成31年2月22日（金）午後3時～4時50分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、平井育子、谷本由美子、西村正雄、西村隆義、
広田弥一郎、岸本美鈴、福山裕正、中村史生 以上9名（敬称略）

関係課 なし

事務局 沖田用瀬町総合支所長、西尾副支所長、岡本産業建設課長、
谷口市民福祉課長、堀場地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題・報告事項等

(1) 新市域振興ビジョン推進計画進捗状況について

(事務局)

資料により説明

(委員1)

分収造林で50年の契約期間に達するものがあるが、契約満了後の対応について地元説明が必要。早く方針等を示されたい。

(事務局)

本年度、林務水産課において本年度と来年度に満期が到来するものについて、方針を決定するための立木の試算を行っているところです。その結果により払下げや契約延長等の方向性を検討されます。早急に方針決定するよう改めて伝えます。

(委員4)

山林の伐開等については災害等の心配もあり、研修会を行う等の指導を行ってほしい。

(委員 2)

〔流しびなの館と体験観光プランの検討〕とあるが、具体的な内容は何か。

(事務局)

これは、活性化団体から体験型観光の提案があり、拠点となる流しびなの館の職員、県担当者、関係者等と協議を行ったものです。

近年インバウンド（訪日外国人客）は日本の文化に関心が高いことから、関西空港から山陰方面や米子空港から関西方面への観光客に対し、主要観光地へのルート上に位置する用瀬町に立ち寄っていただき、流しびなや棧俵づくり等の体験型観光を提供していきたいという内容です。

協議の中で、現在棧俵等を制作されている「ときわ会」の本年5月解散をお聞きし、まずは保存・継承等を考えなければ体験型観光事業が成り立たないことから、支所では地域おこし協力隊事業の検討を行い、来年度予算要求しています。

今後、地域やふるさと振興事業団、ときわ会等との連携や流しびなの承継保存、土産物の開発などに取り組む必要があると考えています。

地域の皆さまのご協力もよろしくお願いいたします。

(委員 3)

12月にジャパンコーヒーフェスティバルが開催されたが、冬季は降雪も心配され場合によっては悪天候もありうるので、開催時期等検討されなかったのか。

(事務局)

この事業は（一社）日本コーヒーフェスティバル実行委員会事務局からの持ち込み事業です。

プレイベントとして、夏から数回にわたりコーヒーの提供をされるなどPRされてきました。当日はイエロービルのクリスマスイベントもあり、多くの方がお越しになりました。

(委員 2)

地域に人を呼び、用瀬を知ってもらおうと若者が活動している面もあり、取り組みを応援していきたい。

(委員 3)

地域住民の参画がもっとあれば、さらに賑わいに繋がるのではないかと思います。

(委員 4)

遊休不動産の活用について、売買等の際に必要な司法書士への費用等に助成がないか。

(事務局)

どのようなものがあるかは内容によるので、ご相談いただければと思います。

(会長)

江波の三番叟の後継者問題について、いきいき社まちづくり協議会が相談を受けている。伝統芸能・文化を保存していくことも大きな課題だ。

(委員 5)

農作業を受託している(有)グリーンもちがせのオペレーターも高齢化が進んでいる。農業の担い手育成の観点から、オペレーターの育成や確保も喫緊の課題である。

(委員 1)

情報伝達設備整備事業補助制度の説明チラシは内容がわかりにくい。住民サイドに立った説明内容のものを作成してもらいたい。

(委員 4)

地域包括ケアシステムの構築に、サロン事業は重要な役割を果たすと思われる。各集落にあるサロンを支えるような方法を考えてほしい。

(2) 乗合タクシーのダイヤ改正について

(事務局)

資料により報告

(会長)

高齢者の運転免許証返納が増加していくと考えられ、バス等の利用者は今後増えると思われる。公共交通については、方向付けを急ぐ必要がある。

(委員 6)

運転免許証返納者に対して、乗合タクシー運賃を助成して利用してもらうようにしてはどうか。

(事務局)

運賃は200円で、現在においても赤字補てんしている状況です。さらに補助することは困難と思われます。

(会長)

ひとまずは市が事業主体として継続していく形となったところであり、これから地元がどのようにして取り組んでいくかが重要と考える。

(3) その他

(会長)

平成31年2月19日に開催された第2回地域振興会議会長会について報告する。用瀬町地域の問題点として、公共交通機関の存続について提案や説明を行った。市民の交通確保は市の責任であり、体制づくりや運転手の確保などの支援をお願いした。

4 各課事務連絡等

(事務局)

支所管内行事予定、イベント案内、チラシ配布

5 閉 会